

2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業

(前年度予算額：28,252千円)
30年度概算要求額：50,876千円

【事業目的】

2019年（平成31年）に我が国で開催されるラグビーワールドカップ日本大会の成功に向けて、平成29年夏頃には公認チームキャンプ候補地が決定し、事前チームキャンプ地を含め、全国各地において順次キャンプ地が決定していくことから、大会前年にあたる平成30年度には、これまで試合開催都市（12か所）において取り組んできたタグラグビーの指導者研修会及び学外クラブの整備を全国47都道府県に拡大し、小・中学生年代をはじめとした幅広い層に対して、ラグビー競技を普及・啓発するとともに、ラグビー競技を通じた国際交流を促進する。

事業概要

1. タグラグビーによるラグビー競技の普及

全国で小・中学生年代を対象に、タグラグビーを活用してラグビー競技の普及拡大を図る。

2. 放課後ラグビーによる競技者の拡大

全国で中学生等が平日の放課後もラグビーをできる環境を整備し、競技者の拡大を図る。（新しい学外クラブ創設等）

3. ラグビーを通じた国際交流

高校生年代におけるラグビーを通じた国際感覚の養成や語学能力の向上を目指し、ラグビー先進国との国際交流プログラムを実施する。

タグラグビーとは

タックル等の激しい身体接触をなくしたラグビーであり、運動が苦手な子供たち、学年や性別を問わず誰でも活躍できて安全に楽しむことができるボールゲームのこと。

小学校学習指導要領において、ボール運動のゴール型の例示に、タグラグビーを新たに明示した。また、中学校学習指導要領の解説保健体育編に、球技の一つとして新たに例示されている。

中学校でもラグビー
をやりたいな！

タグラグビーって楽しいね！
体育の授業が待ち遠しいね！

男女で一緒にゲ
ームができるね！

